

シャラン・バロー

国際労働組合総連合 (ITUC) 書記長

土曜日の午後にこの重要な問題についての会議にご参加ありがとうございます。

グローバルな危機に際し、連帯のご挨拶を送ります。

COVID-19 パンデミックですでに 20 万人の命が奪われました。さらに多くの人々が長期にわたり健康被害に苦しむでしょう。世界のほとんどの人々がシャットダウンと自宅監禁状態に置かれています。

私たちは世界で、自らの市民的自由を犠牲にして人命を救うために働く人々にグローバルな連帯を示すという歴史的な行動をおこなっています。医療など不可欠なサービスに従事する数百万人の労働者は、自身と家族に危険が及ぶのを顧みず仕事に出かけ、監禁状態の私たちの命を救うため懸命に働いています

労働者の日であるメーデーの 5 月 1 日に、世界中で私たちはこれらの人々に称賛を送ります。同時に、(病気からの) 回復と (仕事への) 復帰の基盤としての新たな社会契約を要求します。そのためには世界を作り変えて、人々と地球を、繁栄をともなう平和な世界の中心に据える必要があります。

私たちはすでに複合的な危機に直面しています。紛争は激化し、軍事費と難民も第二次世界大戦レベル以上に増加しています。世界中で膨大な格差が怒りを生み、民主主義への不信が高まっています。気候の緊急事態による人類滅亡を防ぐためにすべての人々の行動が緊急に必要です。女性に関するあらゆる進歩の指標が停止状態です。私たちは技術の最善の面と最悪の面のどちらを選ぶのか選択を迫られています。そして COVID-19 に直面している今、2 億人の雇用が失われ、また 2 億 5 千万人が飢餓に瀕し、さらに 5 億人が貧困状態に陥ろうとしています。

より良い未来への公正な移行を可能にするために、世界のリセットボタンを押すことが必要です。平和が希望の基礎となる未来です。

平和と安定を実現する新しい社会契約が必要です。しかし戦争と核攻撃の脅威の下では、新しい社会契約を作ることはできません。

戦争と核兵器は、労働組合運動が目指す世界の対極にあるものです。民主的な意思決定と平和的な交渉は、私たちの運動のかなめ石です。そして人権、労働権に関する条約、結社の自由、そして団体交渉の権利についてもです。軍備を減らさなければ、平和と繁栄は実現できません。

ITUC はグテーレス国連事務総長のグローバル停戦の呼びかけを支持します。人命を救うための援助の道と外交の機会を開き、最も COVID-19 で苦しんでいる、最も脆弱な人々に焦点を当てね

ばなりません。事務総長の呼びかけが無視されないように私たちは努力せねばなりません。というのは人間の記憶は短いからです。

ITUC の日本の加盟団体である連合は、運動の歴史の中でずっと、広島・長崎への原爆投下という不正義の記憶が忘れられてしまわないよう活動してきました。この戦争中におこなわれた悲劇的な行為から 75 年が経つにもかかわらず、人類がいまだに、人間が作り出したこの悪と向き合い続けているのは恥ずべきことです。

NPT 再検討会議はできる限り早くおこなわれなければなりません、この再検討会議に向けて、連合は、原水禁、核禁会議とともに、核軍縮を求める署名をすでに 820 万人分集めています。

現在、核兵器使用の危険性は、この数十年で最も高くなっています。現在、核兵器製造用の核物質が、40 か国で合計 2000 トンも蓄積されており、広島型原爆 4 万発分を製造できる量です。国々はより迅速に正確に攻撃できる新たな核兵器を開発しており、核兵器向けの支出が、ヨーロッパ全土の先進国においても増え続けています。

大企業は、自らの社会的責任を投げ捨てて、大量破壊兵器の製造で利益を得ています。企業の利益追求が、軍拡競争に拍車をかけているのです。そして政治家は国民の安全ではなく自らの利益のためにそれに手を貸しています。

米国防総省は 1 兆 2 千億ドルを核兵器更新に費やそうとしており、ロシアの年間支出は 100 億ドルにのびます。そして INF 条約の破棄は、新たな核軍拡競争を勃発させるでしょう。その 1 兆 2 千億ドルを、医療、教育、人々の役に立つ他産業での雇用、国民皆社会保障のために当てることができれば、世界のすべての人々は、次に危機が訪れてもそれに耐えられるだけの力を蓄えることができるでしょう。

2020 年の軍事支出反対グローバル行動月間 (GDAMS) は、現在の軍事費を当てればどれほどの機会が生まれるかに焦点を当てています。年間 1 兆 8200 億ドルとすれば、一日 50 億ドルという金額となります。

ITUC のよびかけている、最貧諸国のための社会的保護のためのグローバル基金には、世界の雇用者団体からも支持が表明されています。わずか 350 億ドルがあれば、5 年間にわたり、最も貧しい 28 の国々の国民に医療と所得保障を支援することができます。1500 億ドルあれば、低所得から中所得国の国々に対してもそれが可能です。ここに不正義が如実に表れています。

核兵器は非人道的であり、違法な権力の源です。もっともらしい政治宣言が何十年も出されてきましたが、諸国政府はそれを実行してこなかっただけでなく、実のところ、再軍備へと進んでいるのです。

このため ITUC はコペンハーゲンでの前回大会で、核兵器禁止の達成と既存核兵器の廃絶をめざすことを再度決定しました。私たちは常に平和運動の一部として活動してきましたが、今こそ、みなさんとこれまでに増して連帯して活動すべき時です。労働組合の世界的組織である私たちからのメッセージは大きく、明確です。私たちはこの社会から核兵器を今すぐ禁止せねばなりません。

COVID-19 は、多国間主義が危機に瀕していることを浮き彫りにしました。21 世紀のグローバルな危機に共同で対処するためには、グローバルな統治の改革が根本的に必要です。それに含まれるのは、人権、労働権、共通の安全保障です。世界の労働者の 60% はインフォーマルセクターで働くことを余儀なくされています。権利もなく、最低生活賃金ももらえずに。リズ・テオハリス牧師がお話しされた通りで、世界中で起こっていることです。

私たち労働組合は、世界に核の脅威を終わらせようと呼びかけています。また、新たな社会契約を求めます。連帯を世界で発展させましょう。雇用、まともな仕事と収入、そして社会的保護のために。平和、人間、社会正義、私たちが住む地球を最優先にすべきです。

貧困と不平等はこの平和と安定を脅かすものです。これは平和運動と労働運動による歴史的な共同のよびかけです。これからも、若い世代も年配者も手をつないで、ともに戦いましょう。これは一つだけの問題ではありません。「未来のための金曜日」の青年代表に申し上げたいのですが、平和と回復力のある世界こそが、これらすべての緊急事態に対処することができるのです。

変化は、人々が力を持ち、連帯するところに実現するのです。リズ・テオハリス牧師が言ったように、私たちは、組織し、組織し、組織し続けなければなりません。私たちは一つの世界に生きています。団結して、「決して繰り返すな」の声を上げましょう。連帯！